



「全速力で走る事が犬には大事」と松岡さん。リードに頼りでの散歩だけだと犬にはストレスになってしまうのだとか。ゴールデンレトリバーの〈ザック〉とフレンチブルドッグの〈プリム〉は移住後に家族の一員に。



二人と一緒に東京から移住してきた看板犬の〈ボボ〉。広々としたスペースで走り回れるようになり「ここに来てからすごいムキムキになりました」と大沢さん。

も大きいはず。移住して1年、暮らしはどう変わったのだろうか。

人混みから解放され、ご近所さんの優しさに触れる

松岡「来る前から、東京はもう嫌だね、という話をしていて。人が多いのがとにかく苦手。前橋は住みやすいです。移住して最初の2、3か月は僕は世界の名犬牧場^{※2}、大沢はベットショップでアルバイトをしていました。東京では車を持ってなくて、毎日の電車通勤も嫌だなあと思っていたのですが、車が使えるようになって通勤がとても楽になりました。こっちに来て困ったことは……」

大沢「冬の寒さと、夏の暑さ(笑)」

松岡「引越してきたはいいんですけど、エアコンがなくて(笑)。ストーブもない。開業前でお金もなくて、しばらく我慢していました。でも隣に住んでいるおばあちゃんや大家さんも後ろに住んでいる方もすごく親切な方で、本当によく面倒を見てくれて。引越してきて一目にご近所さんに挨拶回りに行っただけで、両手いっぱいたくさん野菜をもらっちゃって、まだガスも通ってなくて『どうしよう……』ってなって(笑)。ちっちゃいカセットコンロで料理しました」

大沢「鍋でしたね」

松岡「可愛がってもらってます。もう感覚的には自分たちのおじいちゃん、おばあちゃんですね」

赤城山の
susono
で暮らす

3



犬のしつけ専門 ぼぼハウス
松岡宰相さん 大沢真衣香さん

自然に囲まれ、広々とした環境で犬たちと過ごす日々

赤城山の南麓「スローシティ」エリアに含まれる富士見町。中心市街地から山頂に向かって延びる坂道の途中に、車道を跨いでそびえ立つ真つ赤な大鳥居がある。市のシンボルでもある赤城山のまきに入り口とも言える地点だ。周辺には住宅地と田畑が広がるのどかな地域で、山頂付近から流れる赤城白川や自然豊かな公園も近い。

東京で出会い、ドッグトレーナーとしての経験を互いに積んできた大沢真衣香さんと松岡宰相さんがこの地に移住してきたのは2022年1月。大沢さんは千葉県、松岡さんは愛知県の出身。どんな縁があってこの土地を選んだのだろうか。二人が経営する〈犬のしつけ専門 ぼぼハウス〉を訪れて移住の経緯を聞くと、意外なエピソードが返ってきた。

松岡「前橋には縁もゆかりも……ないですね(笑)。東京にいたときに同棲を始めたんですが、大沢が憧れていたドッグダンス^{※1}の世界チャンピオンの方が群馬にいて。自分たちも群馬に引っ越してお店をやりたいという、彼女の熱い希望がきっかけでした」

※1 人と犬がペアになって音楽のリズムに合わせて踊り、技や美しさを競い合うスポーツ。

ノリと勢いで決めた移住

松岡「移住の相談をした知り合いから『いい人紹介するよ』って言われて、紹介

されたのが(移住コンシェルジュの)鈴木さんでした。最初はZoomでお話したんですが、画面に映った鈴木さんの姿がすごく印象的だ」

大沢「群馬の仙人かと思った(笑)」

松岡「Zoomが終わった後に二人でニコニコが止まらなかったです」

大沢「鈴木さんは最初から頼もしかったです。最初の相談が2021年の10月頃で、その後11月にはもう動き出して」

松岡「鈴木さんから、一回前橋へ来て一軒目に紹介された今の住まいを外から見たときに、インスピレーションというか、直感というか、『ここで』と。中も見えないし家賃も聞かずに。もう引っ越しから(大沢が)全部勢いで、勝手に始めちゃうんですよ(笑)。住むことを決めたって自分たちの中で決めていただけなのに、もう引っ越し屋さんに頼んじゃって」

大沢「(笑)」

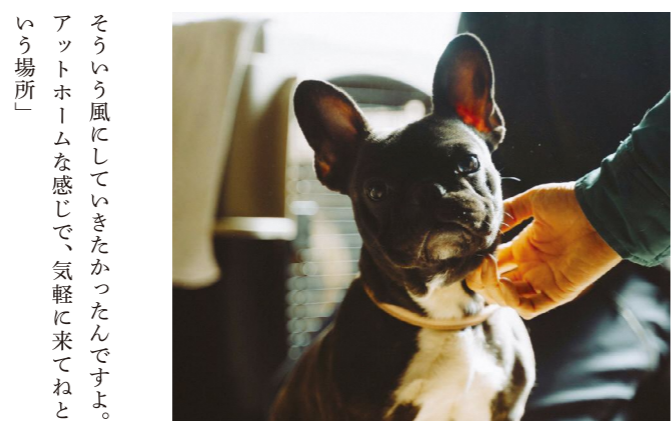
松岡「もうこの日に引っ越すってなっちゃったんですよ(笑)って鈴木さんに連絡したら、『どういうこと?』って驚かれて(笑)。『まだ賃貸契約もしてないぞ!』って言われちゃって。そこから急遽、全部パーツと手続きをしてもらって」

二人が決めた場所は敷地面積の広い一戸建ての民家。裏庭にはドッグランに十分なスペースがある。なかなかの決断力と行動力に驚くが、それまでの東京での生活と比べて利便性などの面でギャップ

※2 区画ごとに様々な犬種の犬と触れ合うことができ、広大なドッグラン、ベットのホテルなどを有する前橋市内の施設。

犬とお客さん同士が交流する
アットホームな場所づくり

SNSでの宣伝などが功を奏し、トレーニングのために群馬県内だけでなく東京や神奈川、長野から飼い犬を預けに来るお客さんもいる。1日預けている間に群馬観光を楽しむお客さんも多いのだとか。



松岡「ここに来た子は全頭覚えていきます。すぐに良くなって卒業ですっていう子もいれば、ここが好きで通っているという飼い主の方も。あとはうちで飼っているニホンスピッツの〈ボボ〉を好きな方がいて、『今日触れますか?』って。アイドル犬ですね」

大沢「お客さん同士で遊びに行ったりもしてるね」

松岡「ここで出会った方みんなでもコミュニケーションの場を作りましょうっていうイベントを一回やったんですけど、そこで知り合った方が一緒にドッグランに行ったり、お出かけしたりっていうのは、見て嬉しいです」

大沢「お迎えの時に他のワンちゃんを見て『あ、あの子がいる』って、他のワンちゃんのことでも知っててくれていたり」

松岡「今日は遊んでくれてありがとうね』って。本当に家族みたいなんです。

まるで幼稚園や保育園に子どもを送り迎える親同士のようになり、犬を介して飼い主同士のコミュニケーションも広がっているようだ。そんな二人のプライベートの楽しみは?

松岡「今のところほとんど時間が取れないですね。お休みの日は疲れてなければコストコや温泉に『行けたら行こうか?』という感じで。それ以外の趣味とかは……?」

大沢「庭でよく犬と踊ってます」

松岡「結局、犬(笑)。ホームセンターに行っても絶対ベットのコーナーに行くし。趣味は犬ですね(笑)」